

## 令和8年度国際関係学部一般選抜A個別方式(第2期)出題意図について

### 国語

#### 大問1

現代文(評論文)の読解力を試す問題。内容は環境問題に関連して自然と調和した人間の姿について論じたもの。平易な文章ではあるが、個々の言葉の正確な理解と、文脈をきちんと把握する能力を確かめることを意図している。また、自然界と人間との繋がりを考えることで、環境問題を深い視点から考えられるようになることも意図している。

- ・問一、四、五は、漢字・語句を問う問題。
- ・問二、六、九は、文脈から適切な言葉を判断する問題。
- ・問三、八は、本文で具体的に説明されている事柄を抽象的な表現に置き換えられるかを問う問題。
- ・問七、十は、文脈に応じて言葉の意味が多様化する、その差を問う問題。
- ・問十一は、一つの段落内での議論の展開を把握しているかを問う問題。
- ・問十二は、本文全体の趣旨を理解できているかを問う問題。

#### 大問2

現代文(評論文)の読解力を試す問題。内容は現代日本社会における「エリート」のあり方について論じたもの。比較的馴染みがある概念や用語について筆者がどのように定義し、それに基づいてどのような主張を述べているか、正確に理解できる能力を問うことを意図している。

- ・問二、四、七、九、十は、文章の内容を論理的に理解できているかを問う問題。
- ・問三、八は、漢字の読み書き能力を問う問題。
- ・問一は、語彙を問う問題。知識がなくても、前後の文脈から類推する能力があれば解答は可能。
- ・問五は、文脈を論理的に理解した上で、筆者の述べる具体例と一般論から、その他の類似する事例を導き出す能力を問う問題。
- ・問六、十一は、論理的に内容を理解しているかを問う空欄補充問題。
- ・問十二は、内容の要旨問題。本文の要点を理解した上で過不足なくまとめることができる能力を問う。

#### 大問3

鎌倉中期の説話集『十訓抄』を題材として、古文を正確に読解する能力や古典文法、文学史

の流れに関する理解力を問う。

- ・問一と問四、古典の基礎知識（国名・時刻）について、正しく理解しているか確認した。
- ・問二と問六 古典文法の基礎知識を踏まえ、助詞や助動詞について理解しているか確認した。
- ・問三と問五 古文を正確に読解できているか問うた。
- ・問七 古文を正確に読解する能力を問うた。問題文の内容と合致するものについて問うことで、問題文全体の内容について理解できているか確認した。
- ・問八 文学史の基礎知識を踏まえ、『十訓抄』の成立について理解できているか確認した。